

林産試ニュース

■ 特用林産物セミナーを開催しました

2月8日（木）、森林研究本部では地域ニーズに対応した特用林産物「有用樹木・きのこなどについて」の研究開発事例と事業化に向けた取り組みについて紹介するとともに、今後の研究の方向性について皆さんとともに考えるセミナーを開催しました。

林産試験場からは、関係機関と共同で取り組んだ「ヤナギを活用した菌床シタケの安定生産」について紹介しました。



【特用林産物セミナーの様子】

■ 道北林活議連絡会の訪問を受けました

2月6日（火）、上川・宗谷・留萌の各振興局管内の市町村議会で結成されている道北地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会45名の訪問を受けました。

当日は概要説明の後、曲げ試験機等の強度試験装置や、試験用ロータリーレース、開発中のきのこ、圧縮木材、カラマツ建築材（コアドライ®）やシラカンバ内装材、木と暮らしの情報館、コロポックルなどをご覧いただきました。



【道北林活議連絡会訪問の様子】

■ 「林産技術セミナー」を開催しました

2月19日（月）に釧路工業技術センターで、26日（月）に苫小牧市文化交流センターで「林産技術セミナー」を開催しました。

釧路市では38名の参加があり、『道産材の付加価値向上に向けた技術』と題して「トドマツ人工林材の材質と利用技術」「カラマツの建築用材利用技術」「道産カンバ類の高付加価値用途への技術開発」について、地域に豊富な森林資源を付加価値の高い利用方法や資源を有効に活用するための研究成果を紹介しました。

苫小牧市では28名の参加があり、『すぐに活用できる木質バイオマスの利用技術』と題して「木質チップ燃料の検収マニュアル」「未利用材の品質保持について」「木質ペレット燃料の品質管理等について」「木質ボイラーで発生した燃焼灰の活用に向けた検討について」の紹介や「バイオマス燃料の利用に関する技術相談」を実施し、木質バイオマス燃料や燃焼灰の有効活用に向けた研究成果の紹介や、木質バイオマス燃料を利用している方の技術相談にお答えしました。



【林産技術セミナー（釧路市）の様子】

林産試だより

2018年3月号

編集人 林産試験場

HP・Web版林産試だより編集委員会

発行人 林産試験場

URL: <http://www.hro.or.jp/fpri.html>

平成30年3月1日 発行

連絡先 企業支援部普及連携グループ

071-0198 北海道旭川市西神楽1線10号

電話 0166-75-4233（代）

FAX 0166-75-3621